

1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容					
1	作 成 単 位	同一料金月、同一支払期限でお客さま単位（会社コード単位）					
2	F D の サ イ ズ	3. 5 インチ					
3	フォーマット形式	2 H D		2 D D		C D - R	M O
		1. 25MB	1. 44MB	640KB	720KB	650MB	128MB
4	標準最大出力件数 （圧縮希望時）	1, 800 レコード (14, 400)	2, 200 レコード (17, 600)	1, 000 レコード (8, 000)	1, 000 レコード (8, 000)		
5	使 用 コ ー ド	J I S 漢字コード：シフトJ I S					
6	レ コ ー ド 長	可変長。（復帰改行コードが追加されます）					
7	フ ァ イ ル 形 式	テキスト形式・項目名付CSV (1 枚に収容しきれない場合は、同一ファイル名で複数枚作成します。)					

注：項目名付CSV形式とは、レコードの先頭に項目名のみの項目名レコードを編集し、その後ろにデータレコードを編集する形式です。レコードの編集形式は以下のとおりとなっています。

- (1) 項目と項目の間をカンマ（,）で区切ります。
- (2) 1レコードの最終項目編集後、復帰改行（C R L F）を付加します。
- (3) 数値項目（件数・金額等）以外の場合は、そのデータをダブルクオート（" "）で囲みます。（例：" A B C D" ）
- (4) 数値項目（件数・金額）以外の場合で、データが省略されている場合は半角のスペースを編集し、ダブルクオートで囲みます。（例：" " ）
- (5) 数値項目の場合は、有効数字のみ編集します。
- (6) 数値項目の場合で、データが省略されている場合は、半角のゼロのみ編集します。（例：……, 0, ……）
- (7) 標準最大出力件数は、FDへの収容方法により変動します。

<圧縮について>

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧圧縮書庫管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

圧縮したデータの解凍手順 ① パソコンのハードディスクにコピーする。

② ファイルを実行する。

以上で圧縮したデータが自動解凍されます。

※ フリーソフトウェア：著作権は放棄されていないが、使用は自由なソフトウェア。

2. ファイル仕様

(1) 作成するファイル

ファイル名称	ファイル名
管理ファイル	L O O O O O 0 1 . C S V
パケット回線番号別内訳ファイル	L O O O O O 1 1 . C S V
請求書作成番号ファイル	L O O O O O 5 1 . C S V
会社合計ファイル	L O O O O O 9 1 . C S V

注1：FD2枚以上にまたがるファイルは、パケット回線番号別内訳ファイルのみです。

注2：作成するファイル名の構成

L O O O O O × × . C S V
 *1 *2 *3

- 1 「L」：パケット番号別明細内訳書の表示
- 2 弊社が付与するお客さま識別コード（数字5桁）
- 3 ××：データ種類（圧縮の場合はFD作成連番01～99）
- 4 CSV：ファイル拡張子（圧縮の場合は「EXE」）

- ・圧縮の場合は、××にFD作成通番01～99、ファイル拡張子「EXE」のファイルを作成しますが、自動解凍後に上記のとりのファイルになります。
- ・圧縮ファイルが複数枚となった場合に、同じホルダ内で解凍すると、パケット回線番号別内訳ファイルは、1枚目からN枚目全て同じファイル名で解凍されますので後から解凍したファイルで上書きされます。複数枚になった場合は、ホルダを変えて解凍して下さい。

(2) FDへの収容方法

① 1枚目

管理ファイル、請求書作成番号ファイル、会社合計ファイル収容してから、パケット回線番号別内訳ファイルを収容件数が、最大出力件数（FDのフォーマット形式毎に定めた、FDに収容可能な最大件数）になるまで収容します。

② 2枚目以降

1枚目に収容しきれなかった場合、残りのパケット回線番号別内訳ファイルを2枚目以降のFDに順次収容します。最大99枚まで収容可能です。

※項目名レコードについては、作成しません。

(3) ファイル関連図

●管理ファイル

●パケット回線番号別内訳ファイル（回線番号別の内訳レコードで構成）

パケット 内訳レコード1番目 パケット回線番号別	内訳レコード2番目 パケット回線番号別	～	パケット 内訳レコードN番目 パケット回線番号別	内訳レコード1番目 パケット回線番号別	内訳レコード2番目 パケット回線番号別	～	パケット 内訳レコードN番目 パケット回線番号別	～	内訳レコード2番目 パケット回線番号別	～	内訳レコードN番目 パケット回線番号別
パケット回線番号1番目			パケット回線番号2番目			～			パケット回線番号N番目		

●請求書作成番号合計ファイル（請求書作成番号別の内訳レコードで構成）

請求書 合計レコード1番目 請求書作成番号	合計レコード2番目 請求書作成番号	～	請求書 合計レコードN番目 請求書作成番号	合計レコード1番目 請求書作成番号	合計レコード2番目 請求書作成番号	～	請求書 合計レコードN番目 請求書作成番号	～	合計レコード2番目 請求書作成番号	～	合計レコードN番目 請求書作成番号
請求書作成番号1番目			請求書作成番号2番目			～			請求書作成番号N番目		

●会社合計ファイル

3. レコード構成

各ファイルのレコード形式

(1) 管理レコード

会社コード	データ種類	年月群	媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群
	[01]						
5	2	7	2	8	3	1	1

(2) パケット回線番号別内訳レコード

パケットサービス種類	パケット回線番号	定期分割番号	データ種類 [11]	レコードNo.	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	ご利用期間				検針日前回	検針日今回	予備
									基本料等		通信料等				
									初日	末日	初日	末日			
1	7	1	2	2	2	10	6	8	4	4	4	4	4	4	10

パケット通信料今月分	ご請求金額	請求内訳 1								請求内訳 2、請求内訳 1 6	請求内訳 1 7								年月群
		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分	
10	10	30	3	4	36	6	10	3	30	1830	30	3	4	36	6	10	3	30	7

(3) パケット回線番号別内訳レコード2

パケットサービス種類	パケット回線番号	定期分割番号	データ種類 [11]	レコードNo.	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	ご利用期間				検針日前回	検針日今回	予備
									基本料等		通信料等				
									初日	末日	初日	末日			
1	7	1	2	2	2	10	6	8	4	4	4	4	4	4	10

パケット通信料今月分	ご請求金額	請求内訳 1								請求内訳 2、請求内訳 1 6	請求内訳 1 7								年月群
		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分	
10	10	30	3	4	36	6	10	3	30	1830	30	3	4	36	6	10	3	30	7

(4) 請求書作成番号合計レコード

ご請求番号	データ種類 [51]	レコードNo.	レコード数	部課別コード	ご利用期間				検針日前回	検針日今回	予備	パケット通信料今月分	請求合計金額	請求件数	金融機関コード	口座番号
					基本料等		通信料等									
					初日	末日	初日	末日								
10	2	2	2	6	4	4	4	4	4	4	10	10	10	8	7	8

口座名義	送付先名	請求内訳 1								請求内訳 2、請求内訳 1 6	請求内訳 1 7								年月群
		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分	
40	40	30	3	4	36	6	10	3	30	1830	30	3	4	36	6	10	3	30	7

(5) 請求書作成番号合計レコード2

ご請求番号	データ種類 [51]	レコードNo.	レコード数	部課別コード	ご利用期間				検針日前回	検針日今回	予備	パケット通信料今月分	請求合計金額	請求件数	金融機関コード	口座番号
					基本料等		通信料等									
					初日	末日	初日	末日								
10	2	2	2	6	4	4	4	4	4	4	10	10	10	8	7	8

口座名義	送付先名	請求内訳 1								請求内訳 2 ～ 請求内訳 16	請求内訳 17								年月群
		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分		利用会社	内訳コード	請求内訳コード	請求内訳名	再掲表示	内訳金額	残回数	税区分	
40	40	30	3	4	36	6	10	3	30	1830	30	3	4	36	6	10	3	30	7

(4) 会社合計レコード

会社コード	データ種類 [91]	会社合計請求額	会社合計請求件数	年月群
5	2	12	8	7

4. レコード内容

(1) 管理レコード

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	文字	5	会社コード(お客さま識別コード)を設定。 例：“01234”
2	デ ー タ 種 類	文字	2	“01”
3	年 月 群	文字	7	処理年月群を設定。 (年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6) 詳細はコード表「項番5、料金群・詳細群」参照
4	媒 体 通 番	文字	2	“01” 固定。
5	網 種 別	文字	8	“パケット”を設定。
6	媒 体 識 別	文字	3	出力媒体を設定。 FD…「FD」 MO…「MO」 CD-R…「CDR」 ビリングステーション(注1)をご契約の場合…「BS」
7	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で、同一月内に請求書発行した回数 (料金群変更時等) 再発行は対象外請求回数を設定。
8	詳 細 群	文字	1	詳細群を“A”～“V”、“0”～“9”で設定。 詳細はコード表「項番5、料金群・詳細群」参照

(注1)：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を
専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

(2) パケット回線番号別内訳レコード

項番	項 目 名			区別	桁数	内 容
1	パケットサービス種類			文字	1	パケットサービス種類を設定。 コード表「項番 6、非電話サービス種別」参照
2	パケット回線番号			文字	7	パケット回線番号を設定。 例：“1234567”
3	定期分割番号			文字	1	“0” 固定。
4	データ種類			文字	2	“11” 固定。
5	レコード No.			文字	2	同一パケット回線番号でのレコードNoを設定。
6	レコード数			文字	2	同一パケット回線番号でのレコード数を設定。
7	ご請求番号			文字	10	弊社がお客さま単位に設定した請求書作成番号 例：“0001234567”
8	部課別コード			文字	6	ALL “0”。
9	減算不能区分			文字	8	“通常” または “減算不能”。 ※減算不能（次の①または②の場合） ①ご請求額よりお返しの金額の方が多い場合。 ②ご請求額が0円の場合。 詳細は、コード表「項番 1、減算不能区分コード」参照
10	ご利用期間	基本料等	初 日	文字	4	利用期間の初日（開始）および末日（締切）を出力。 例：開始 10月 1日→1001 締切 10月31日→1031
11			末 日	文字	4	
12		通信料等	初 日	文字	4	
13			末 日	文字	4	
14	検 針 日 前 回			文字	4	パケット通信料等の利用量前回測定日。
15	検 針 日 今 回			文字	4	パケット通信料等の利用量今回測定日。
16	予 備			文字	10	
17	パケット通信料今月分			数字	10	今月分のパケット通信料。 右詰で不足桁分はオール「0」
18	ご 請 求 金 額			数字	10	該当パケット回線番号の請求金額を設定。 ・マイナス金額の場合、符号付編集。 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式 について」参照)
19	請求内訳1	利 用 会 社		文字	30	ご利用の会社名を設定。
		内 訳 コー ド		文字	3	内訳コードを設定。 コード表「項番 7、請求内訳コード」参照。
		請求内訳コード		文字	4	請求内訳コードを設定。 コード表「項番 7、請求内訳コード」参照。
		請 求 内 訳 名		文字	36	請求内訳名を設定。
		再 掲 表 示		文字	6	初期値
		内 訳 金 額		数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力。 ・マイナス金額の場合、符号付編集。 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式 について」参照)
		残 回 数		文字	3	初期値。
		税 区 分		文字	30	消費税区分を設定。 コード表「項番 4、税区分コード」参照

次頁へ続く

前頁の続き

2 0	請 求 内 訳 2 ～ 1 6				2 個 目 以 降 の 請 求 内 訳 を 示 し、内 訳 が 存 在 し な い 場 合 の 編 集 方 法 は、「項 番 1 パ ケ ッ ト 番 号 別 明 細 内 訳 書 F D の 仕 様」参 照。 (請 求 内 訳 は、最 大 1 7 内 訳 ま で を 本 レ コ ー ド に 編 集。 1 7 内 訳 を 超 え る 場 合 は、「パ ケ ッ ト 回 線 番 号 別 内 訳 レ コ ー ド 2」に 編 集)	
2 1	請 求 内 訳 1 7	利 用 会 社	文 字	3 0		
		内 訳 コ ー ド	文 字	3		
		請 求 内 訳 コー ド	文 字	4		
		請 求 内 訳 名	文 字	3 6		
		再 掲 表 示	文 字	6		
		内 訳 金 額	数 字	1 0		
		残 回 数	文 字	3		
		税 区 分	文 字	3 0		
2 2	年	月	群	文 字	7	年 は 西 暦 4 桁、月 は 0 1 ～ 1 2、群 は 1 ～ 6 例：2001 年 8 月 C 群 → “2 0 0 1 0 8 3”

(3) パケット回線番号別内訳レコード2

項番	項 目 名			区別	桁数	内 容
1	パケットサービス種類			文字	1	パケットサービス種類を設定。 コード表「項番 6、非電話サービス種別」参照
2	パ ケ ッ ト 回 線 番 号			文字	7	パケット回線番号を設定。 例：“1 2 3 4 5 6 7”
3	定 期 分 割 番 号			文字	1	“0” 固定
4	デ ー タ 種 類			文字	2	“1 1” 固定
5	レ コ ー ド No.			文字	2	同一パケット番号でのレコードNoを設定。
6	レ コ ー ド 数			文字	2	同一回線番号でのレコード数を設定。
7	ご 請 求 番 号			文字	1 0	弊社がお客さま単位に設定した請求書作成番号 例：“0001234567”
8	部 課 別 コ ー ド			文字	6	A L L “0”
9	減 算 不 能 区 分			文字	8	初期値を設定します。
1 0	ご利用期間	基本料等	初日	文字	4	
1 1			末日	文字	4	
1 2		通信料等	初日	文字	4	
1 3			末日	文字	4	
1 4	検 針 日 前 回			文字	4	
1 5	検 針 日 今 回			文字	4	
1 6	予 備			数字	1 0	
1 7	パ ケ ッ ト 通 信 料 今 月 分			数字	1 0	
1 8	ご 請 求 金 額			数字	1 0	
1 9	請求内訳1	利 用 会 社		文字	3 0	ご利用の会社名を設定。
		内 訳 コ ー ド		文字	3	内訳コードを設定。
		請 求 内 訳 コ ー ド		文字	4	請求内訳コードを設定。 コード表「項番 7、請求内訳コード」参照。
		請 求 内 訳 名		文字	3 6	請求内訳名を設定。
		再 掲 表 示		文字	6	初期値。
		内 訳 金 額		数字	1 0	内訳毎の請求金額を設定。
		残 回 数		文字	3	初期値。
		税 区 分		文字	3 0	消費税区分を設定。

次頁へ続く

前頁の続き

2 0	請 求 内 訳 2 ～ 1 6				2 個 目 以 降 の 請 求 内 訳 を 示 し、内 訳 が 存 在 し な い 場 合 の 編 集 方 法 は、「項 番 1 パ ケ ッ ト 番 号 別 明 細 内 訳 書 F D の 仕 様」参 照。 （請 求 内 訳 は、最 大 1 7 内 訳 ま で を 本 レ コ ー ド に 編 集。 1 7 内 訳 を 超 え る 場 合 は、「パ ケ ッ ト 回 線 番 号 別 内 訳 レ コ ー ド 2」[第 3 レ コ ー ド 以 降] に 編 集）	
2 1	請 求 内 訳 1 7	利 用 会 社	文 字	3 0		
		内 訳 コ ー ド	文 字	3		
		請 求 内 訳 コー ド	文 字	4		
		請 求 内 訳 名	文 字	3 6		
		再 掲 表 示	文 字	6		
		内 訳 金 額	数 字	1 0		
		残 回 数	文 字	3		
		税 区 分	文 字	3 0		
2 2	年	月	群	文 字	7	年 は 西 暦 4 桁、月 は 0 1 ～ 1 2、群 は 1 ～ 6 例：2001 年 8 月 C 群 → “2 0 0 1 0 8 3”

(4) 請求書作成番号合計レコード

項番	項 目 名			区別	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号			文字	10	弊社がお客さま単位に設定した請求書作成番号 例：“0001234567”
2	デ ー タ 種 類			文字	2	“51” 固定
3	レ コ ー ド No.			文字	2	同一請求番号のレコードNoを設定
4	レ コ ー ド 数			文字	2	同一請求番号でのレコード数を設定
5	部 課 別 コ ー ド			文字	6	オール“0”を設定。
6	ご利用期間	基 本 料 等	初 日	文字	4	利用期間の初日（開始）および末日（締切）を出力。 例：開始 10月 1日→1001 締切 10月31日→1031
7			末 日	文字	4	
8		通 信 料 等	初 日	文字	4	
9			末 日	文字	4	
10	検 針 日 前 回			文字	4	パケット通信料等の利用量前回測定日を設定。
11	検 針 日 今 回			文字	4	パケット通信料等の利用量今回測定日を設定。
12	予 備			文字	10	
13	パケット通信料今月分			数字	10	今月分のパケット通信料。 右詰で不足桁分はオール「0」
14	請 求 合 計 金 額			数字	10	請求書作成単位の請求額。 例：100000円の場合、 →“0000100000”
15	請 求 件 数			数字	8	請求書作成単位のパケット回線数を設定。 例：100回線の場合、 →“00000100”
16	金 融 機 関 コ ー ド			文字	7	口座振替の場合、金融機関コード。 口座振替以外は、ALLスペース
17	口 座 番 号			文字	8	口座振替の場合、口座番号。 口座振替以外は、ALLスペース
18	口 座 名 義			文字	40	口座振替の場合、半角カナ左詰めの口座名義。 口座振替以外は、ALLスペース
19	送 付 先 名			文字	40	請求書送付先氏名を半角カナ左詰めで設定。

次頁へ続く

前頁の続き

2 0	請求内訳 1	利 用 会 社	文字	3 0	スペースを設定します。	
		内 訳 コ ー ド	文字	3		
		請 求 内 訳 コー ド	文字	4		
		請 求 内 訳 名	文字	3 6		
		再 掲 表 示	文字	6		
		内 訳 額	数字	1 0		
		残 回 数	文字	3		
		税 区 分	文字	3 0		
2 1	請求内訳 2 ～ 1 6					
2 2	請求内訳 1 7	利 用 会 社	文字	3 0		
		内 訳 コ ー ド	文字	3		
		請 求 内 訳 コー ド	文字	4		
		請 求 内 訳 名	文字	3 6		
		再 掲 表 示	文字	6		
		内 訳 金 額	数字	1 0		
		残 回 数	文字	3		
		税 区 分	文字	3 0		
2 3	年	月	群	文字		7

(5) 請求書作成番号合計レコード2

項番	項 目 名			文字	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号			文字	10	弊社がお客さま単位に設定した請求書作成番号 例：“0001234567”
2	デ ー タ 種 類			文字	2	“51” 固定
3	レ コ ー ド No.			文字	2	同一請求番号でのレコードNoを設定。
4	レ コ ー ド 数			文字	2	同一請求番号でのレコード数を設定。
5	部 課 別 コ ー ド			文字	6	オール“0”を設定。
6	ご利用期間	基本料 等	初 日	文字	4	初期値を設定します。
7			末日	文字	4	
8		通信料 等	初日	文字	4	
9			末日	文字	4	
10	検 針 日 前 回			文字	4	
11	検 針 日 今 回			文字	4	
12	予 備			文字	10	
13	パケット通信料今月分			数字	10	
14	請 求 合 計 金 額			数字	10	
15	請 求 件 数			数字	8	
16	金 融 機 関 コ ー ド			文字	7	
17	口 座 番 号			文字	8	
18	口 座 名 義			文字	40	
19	送 付 先 名			文字	40	

次頁へ続く

前頁の続き

2 0	請求内訳 1	利 用 会 社	文字	3 0	ご利用の会社名を設定。	
		内 訳 コ ー ド	文字	3	内訳コードを設定。 コード表「項番 7、請求内訳コード」参照。	
		請 求 内 訳 コ ー ド	文字	4	請求内訳コードを設定。 コード表「項番 7、請求内訳コード」参照。	
		請 求 内 訳 名	文字	3 6	請求内訳名を設定。	
		再 掲 表 示	文字	6	初期値。	
		内 訳 金 額	数字	1 0	内訳毎の請求金額を設定。	
		残 回 数	文字	3	初期値。	
		税 区 分	文字	3 0	消費税区分を設定。	
2 1	請求内訳 2 ～ 1 6				2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合の編集方法は、「項番 1 パケット番号別明細内訳書 F D の仕様」参照。 (請求内訳は、最大 1 7 内訳までを本レコードに編集。 1 7 内訳を超える場合は、「請求書作成番号合計レコード」〔第 3 レコード以降〕に編集)	
2 2	請求内訳 1 7	利 用 会 社	文字	3 0		
		内 訳 コ ー ド	文字	3		
		請 求 内 訳 コ ー ド	文字	4		
		請 求 内 訳 名	文字	3 6		
		再 掲 表 示	文字	6		
		内 訳 金 額	数字	1 0		
		残 回 数	文字	3		
税 区 分	文字	3 0				
2 3	年	月	群	文字	7	年は西暦 4 桁、月は 0 1 ～ 1 2、群は 1 ～ 6 例：2001 年 8 月 C 群→“2 0 0 1 0 8 3”

(6) 会社合計レコード

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	文字	5	お客様を識別するコードを設定。
2	デ ー タ 種 類	文字	2	“91”
3	会 社 合 計 請 求 額	数字	12	パケット分の請求額の総合計を設定。
4	会 社 合 計 請 求 件 数	数字	8	パケット回線数の総合計を設定。
5	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6 例：2001年8月C群→“2001083”